



学校だより

9月

令和4年8月29日

横浜市立芹が谷南小学校

学校Webページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/serigayaminami/>



芹南の夏

校長 大島 恵子

長い夏休みが終わりました。休みに入る前に、子どもたちには「時間がたくさんある時にしかできないことにぜひ挑戦してほしい。」という話をしました。山で見つけたカブトムシを飼育したこと、近所のプールに通って息継ぎの練習をしたこと、興味をもった鎌倉時代の歴史について自由研究を進めたことなど私自身の小学生時代の思い出を交えて話しましたが、さて子どもたちはどんな夏を過ごしたのでしょうか。大人になった私の夏休みは、何か新しいことに挑戦することはできませんでしたが、ゆっくり読書をしたり、草むしりにいそしんだり、のんびりと有意義な時間を過ごすことができました。

学校Webページでもお伝えしましたが、学校では休業期間中も職員研修をいくつか行いました。中でも「一般財団法人 Seeds growth coaching」の橋口奈生先生をお招きしてのコーチング研修は、優位感覚という視点をもって子どもたちに寄り添うための手立てを学ぶことができ、非常に有意義な研修となりました。私たちは聴覚、視覚、言語感覚、体感覚など様々な感覚を通して物事を認識していますが、人によって使いやすい感覚（優位感覚）が違うそうです。その優位感覚という視点を通して、自分や相手の特徴をつかむことで円滑なコミュニケーションに生かしていこうとする研修でした。同じ優位感覚を持つ職員同士が共感したり、自分とは違う優位感覚をもつ職員の体験談に驚いたりするなど、研修は活発に進みました。休み明けの児童指導、支援にぜひ生かしていきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症は収束する兆しを見せず、港南区水泳記録会などの学校行事や地域のお祭り等の行事が今年も中止になったことを残念に思う子どもたちは多かったと思います。そんな中、7月31日（日）町内会の皆様にご尽力いただき、永谷高校校庭から盛大に花火が打ち上げられたことは、皆様のご記憶にも新しいかと思えます。例年よりも楽しみが減ってしまった子どもたちのために、心が躍るサプライズ企画を用意してくださった地域の皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。9月以降、4年生の上郷宿泊体験学習、10月の芹南ピック、12月芹南ふれあいDay等々大きい行事が続きます。一つひとつの行事を子どもたちと大切に進めていきたいと思えます。今後ともご支援、ご協力よろしく願いいたします。